

発言者	発言内容 (開会 午後1時30分)
課長	本日会議について、長谷川委員は欠席、野田委員は遅れて出席となります。
部長	任期が改まり1回目の会議となる。任期は2年となる。第7期介護保険事業計画の策定の年であり、年7回の会議を予定。国会で改正案が審議されている。現役並み所得層は費用3割負担や財政的インセンティブが市町村に与えられる。また、医療・介護の同時報酬改正となる。地域包括ケアシステム組織体制については、今年秋に地域包括ケアシステム推進協議会を立ち上げ、その上位機関として大口町高齢者サービス調整会議を位置付ける。この会議は、町の高齢・介護を進める重要な会議となる。
課長	委嘱状交付。(机上に配布) 任期については平成29年4月1日から平成31年3月31日までの2年間である。 「委員長及び副委員長は、委員の互選により定める」とある。
社会福祉協議会代表	佐野委員ではどうでしょうか。(全委員異議なし)
課長	副委員長は慣例により委員長の指名とする。
委員長	舟橋委員にお願いをする。(全委員異議なし)
事務局	議題(1)平成28年度高齢者福祉施策の実績及び平成29年度見込みについて、資料No. 1に基づき説明 ※平成27年度から28年度に増となった事業、配食サービス事業、外出支援サービス事業、在宅生活支援事業の3事業について説明する。
学識経験者	配食サービス事業について、年度により利用者の増減があるが、要因は。
事務局	原因追及はしていない。配食希望者の実績を報告している。次回会議で報告できるように調査する。
事務局	議題(2)平成28年度介護保険事業の実績について、資料No. 2に基づき説明
学識経験者	5認定申請について、区分変更したときの介護度はどうなっているか。 他市町事例で、区分変更をしても要支援2となるケースが多かった。状態は変わっていないが、悪くなっているのに介護度としては軽度になっている。
事務局	状態が悪くなってからの区分変更申請のため、認定審査会において重度変更されている。
地域包括支援センター	議題(3)平成28年度大口町地域包括支援センター活動のまとめについて、資料No. 3に基づいて説明
	(質問なし)
事務局	議題(4)大口町第7期介護保険事業計画・高齢者保健福祉計画について、資料No. 4に基づいて説明 ※机上配布した資料に差替え

	資料No. 4大口町高齢者等実態調査結果のまとめと課題については、株式会社エデュケーションの担当者から説明をする。
株式会社エデュケーション 担 当 者	説明
介護サービス 利用介護者 代 表	生活機能チェックリストや教室について、やり方が変わってきているのか。介護が長くなると、うつ気分となることが多い。ずっと以前からの物忘れやうつ気分は評価されていない。一日中探し物をしていても、家族と一緒にいないと指摘されないため評価されない。
事 務 局	生活機能チェックリストのやり方は変わっていない。全戸配布をしなくなった。教室に参加して個々の数値は上がっているが、評価がされていなかった。介護予防推進検討会を立ち上げ、個々の評価や生活につながるものとなるよう検討を進めていく。
課 長	(5) その他については、議題なし
委 員 長	閉会挨拶 (閉会 午後2時55分)